

タイ・ユニオン・グループ(TUn)

高付加価値で健康重視の機能性・栄養補助食品強化、フードテック新興企業への出資によるイノベーション加速
タイ | 加工食品 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG TU:TB | REUTERS TU.BK

- 2020/12期4Q(10-12月)は、売上高が前年同期比1.9%増、粗利益が同13.9%増、純利益が同37.9%増。巣ごもり消費の追い風を受けた。
- 冷凍シーフード関連製品部門は減収だが、魚介類・水産加工品部門およびペットフード&高付加価値製品部門の増収が全体を牽引。
- 高付加価値で健康重視の機能性・栄養補助食品強化、およびフードテック新興企業への出資により、イノベーションを加速中である。

What is the news?

2/23発表の2020/12期4Q(10-12月)は、売上高が前年同期比1.9%増の334.64億THB、粗利益が同13.9%増の60.23億THB、純利益が同37.9%増の14.57億THB。巣ごもり消費の追い風を受けて、魚介類・水産加工品部門、およびペットフード&高付加価値製品部門の成長が増収に寄与したことに加え、高付加価値製品の売上構成比が上昇したことに伴う粗利率上昇が利益面で寄与した。

製品部門別の売上高は以下の通り。①マグロ、サーディン、サバ関連製品やパウチサーモンなどを含む「魚介類・水産加工品部門」は、前年同期比8.8%増の144.40億THB。マグロ価格が同40%上昇したこと、および製品販売量が同6.9%増加したことが増収に寄与した。②エビ、ロブスター、養殖エビ用飼料などエビ関連製品やスモークサーモン、イカ・タコ、カニ、貝類などの冷凍製品を含む「冷凍シーフード関連製品部門」は、同6.5%減の137.38億THB。製品販売量が同7.0%減だったことが響いた。③「ペットフード&高付加価値製品部門」は、同8.0%増の52.87億THB。製品販売量が同12.9%増となったことが貢献した。

How do we view this?

2021/12通期の会社計画は、売上高が前期比3-5%増、粗利率が同0.7%ポイント低下の17%、売上高販管費率が前期の11.8%に対して11-12%、資本的支出額が同61.0-74.4%増の60-65億THB。水産資源保護の機運の高まりを背景として、ツナ缶頼みからの事業モデル転換を目指すため、投資額を過去3年間で最大規模にする計画である。更に、水産飼料子会社上場に伴う資金調達により資料の生産設備増強も計画している。

同社が目指すイノベーションの方向性は以下の二点である。①高付加価値で健康を重視した機能性食品や栄養補助食品の強化として、昨年10月にタイ飲料最大手タイ・ビバレッジと機能性食品の製造・販売を手掛ける共同出資会社を設立したほか、マグロの骨から製造した天然カルシウム粉末(UniQ™BONE)を今年1月に販売開始した。②フードテックの新興企業への出資として、既にイスラエルの昆虫食関連企業に資本参加したの続き、今年1月、魚の生体から取り出した細胞を培養することで魚肉を生産する米新興企業のブルーナルへの出資を行った。ブルーナルには**住友商事(8053)**の米国子会社も出資している。

業績推移

※参考レート 1THB=3.51円

事業年度	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12F	2022/12F
売上高(百万THB)	133,284	126,275	132,402	133,409	137,250
当期利益(百万THB)	3,256	3,815	6,246	6,425	6,422
EPS(THB)	0.68	0.80	1.33	1.28	1.32
PER(倍)	21.32	18.13	10.90	11.33	10.98
BPS(THB)	9.06	10.15	10.94	11.59	12.06
PBR(倍)	1.60	1.43	1.33	1.25	1.20
配当(THB)	0.40	0.47	0.72	0.70	0.72
配当利回り(%)	2.76	3.24	4.97	4.81	4.99

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(THB)	0.70	(予想はBloomberg)
終値(THB)	14.50	2021/4/5

会社概要

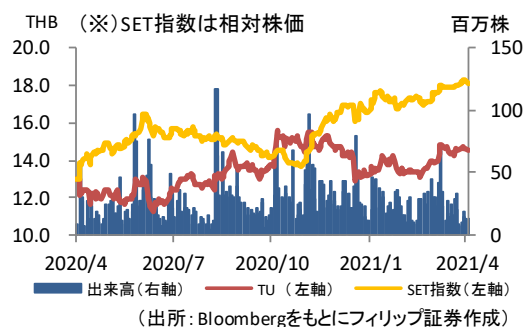
1977年にマグロ缶詰の製造、輸出を目的に設立。三菱商事(8058)が第3位の株主。タイ国内で冷凍食品・チルド食品およびシーフード缶詰の製造・販売を行っているほか、子会社を通じパッケージングや印刷、ペットフードなどの事業も手掛けている。

海外においては、米国子会社がロブスターをはじめシーフード製品の製造・販売を行うほか、レストランチェーンや小売業者、卸売業者向けにエビをはじめとする冷凍シーフード製品の輸入販売を行っている。欧州子会社は欧州、米国、オーストラリアで密封包装食品やチルドシーフードの製造・販売を行っており、アジアの子会社はベトナムおよび中国でシーフード製品の製造・販売を手掛けている。2015年には世界最大のシーフードレストランチェーンの米レッド・ロブスターへ出資を行った。

北米では「Chicken of the Sea」「Genova」、欧州では「John West」「Petit Navire」「Parmentier」「King Oscar」「Mareblu」「Rügen Fisch」、アジア太平洋地域では「SEALECT」「FisHo」「King Oscar」「Qfresh」「Monori」「Bellotta and Marvo」などのブランドを展開する。

企業データ(2021/4/6)

ベータ値	0.71
時価総額(百万THB)	67,499
企業価値=EV(百万THB)	123,120
3ヵ月平均売買代金(百万THB)	346.5



主要株主(2021/4)

1.STOCK EXCHANGE OF THAILAND	17.38
2.Chansiri Thiraphong	8.63
3.三菱商事	7.47

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。